

令和5年度愛媛地方最低賃金審議会
第2回愛媛県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業
最低賃金専門部会議事要旨

開催日時	令和5年10月5日(木)午前9時28分～午前11時02分		
場所	松山若草合同庁舎共用大会議室		
出席状況	公益代表委員	出席 2名	定数 3名
	労働者代表委員	出席 3名	定数 3名
	使用者代表委員	出席 2名	定数 3名
主要議題	1 資料説明 2 金額審議 3 その他		
<p>議事要旨</p> <p>本会議は 公開・非公開</p> <p>1 資料説明</p> <p>金額審議に資する資料について、事務局から説明を行った。</p> <p>2 金額審議</p> <p>労側委員からは、電機産業の継続的な発展を支える優秀な人材の確保が必要であること、原油などのエネルギー価格や原材料価格の高騰により物価が上昇している一方、春闘で大幅な賃金上昇を得たものの物価上昇に賃金が追いつかず実質賃金が減少し続けていること、金属部門製造業の中でも電機特定最低賃金は未だ低位にあること、電機産業全体の雇用は増加していること、加盟組合の最低賃金労働協約の最下限額まで段階を経ながら引き上げることを目指す等の意見を示した上で、金額提示がなされた。</p> <p>使側委員からは、愛媛県の電機特定最低賃金は四国内や全国Bランク県の中でも高く、一部都市周辺部周辺を除けば他県と引けを取らない金額となっていること、光熱費や原材料費の高騰が続いており資金繰りを圧迫していること、電気・電子企業では半導体の納期遅延が完全には解消されていないこと、価格転嫁ができない企業もあること等の状況であるが、物価の上昇のため特定最低賃金の引上げも必要なことも理解しているとの意見を示した上で、金額提示がなされた。</p> <p>労使各側の意見に隔たりがあり、部会長は、各側に対し結審に向けて更なる歩み寄りを促した。</p> <p>3 その他</p> <p>今後の審議日程について、事務局から説明を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			